

# 愛知県大規模展示場整備事業

## 入札結果報告書

平成 28 年 12 月

愛知県振興部

## はじめに

愛知県（以下「県」という。）では、中長期的な観点から愛知の進むべき方向性を明らかにすべく、2014年3月に「あいちビジョン2020」を策定しており、重要政策課題⑤文化・スポーツ・魅力発信においてMICEの戦略的な誘致・開催を掲げています。

その目的を果たすため、国際観光都市推進事業調査（平成27年度）、愛知県大規模展示場基本構想（平成27年度）（以下「基本構想」という。）を策定するなど具体的な検討を進めてきました。

基本構想において、2019年秋頃の開業を目指し、常滑市の空港島において展示面積60,000㎡の大規模展示場を整備することとし、施設整備については、必要最低限の建物仕様、工事費の縮減、短期間の整備を実現するため、基本設計段階から施工のノウハウをより効果的に設計に反映することが可能な設計と施工を一括して発注する方式を採用することとしました。

愛知県大規模展示場整備事業（以下「本事業」という。）の入札については、総合評価落札方式を採用し、入札参加者からの技術提案などについて審査及び評価を行うため、愛知県大規模展示場整備事業者選定委員会（以下「委員会」という。）を設置しました。

本事業は、平成28年8月5日に入札公告し、9月14日まで入札参加申込及び技術提案を受け、10月7日に開札し、10月17日に落札者を決定しました。

本報告書は、事業の概要から落札者決定までを、関係資料とともにまとめています。

本事業の事業者選定にご協力いただきました委員会の皆様、短期間に技術提案をまとめていただいた入札参加者の皆様にお礼申し上げます。

平成28年12月

愛知県振興部

## 目 次

1	事業の概要	1
	(1) 事業名	1
	(2) 場所	1
	(3) 事業の概要	1
	(4) 本事業の目的	1
	(5) 施設整備の概要	1
2	委員会	2
3	事業提案書の審査経過	3
	(1) 入札参加申込及び技術提案	3
	(2) 提案審査	3
4	事業提案書の審査の方法	4
	(1) 技術提案に関する事項	4
	(2) 入札金額に関する事項	9
	(3) 企業の技術力及び配置予定技術者に関する事項	9
	(4) 最優秀提案の選定	11
5	審査結果	12
6	審査講評	13
7	総評	16

# 1 事業の概要

## (1) 事業名

愛知県大規模展示場整備事業（基本設計及び実施設計・施工）

## (2) 場所

常滑市セントレア 4 丁目及び 5 丁目地内

## (3) 事業の概要

愛知県大規模展示場整備に係る設計及び建設工事一式

ア 建物用途 展示場

イ 規模 延べ面積 約 86,000 m<sup>2</sup>

## (4) 本事業の目的

愛知県においては、輸送機器を中心とした多様な産業の集積や大都市圏としてのマーケットの大きさに恵まれているとともに、中部国際空港やリニア中央新幹線整備等による広域交通アクセスの改善が期待できる。また、内外の多様な交流の促進とビジネスチャンスの創出、愛知県の既存産業の充実や新産業の創造を促進するため、中部国際空港に隣接する地に愛知県大規模展示場（以下「大規模展示場」という。）を 2019 年秋頃までに整備することとした。

そのため本事業は、工事費の縮減及び短期間で確実な整備が実現できる「設計・施工一括方式」を基本設計段階から採用し、基本設計から施設完成までを一体で受託できる者による、愛知らしく簡素で機能的な大規模展示場を 2019 年秋頃までの整備を目的とする。

## (5) 施設整備の概要

諸室名	主な導入機能	施設規模等
展示ホール	多種多様な展示ブース、パビリオン等を設置 コンサート、スポーツイベント等を開催	床面積：60,000 m <sup>2</sup> 10,000 m <sup>2</sup> ×6 ホール 有効仮想天井高：14m 以上 間仕切りシャッター5 カ所/1 ホール
付帯諸室	控室、トイレ、機械室、電気室など	
会議室	大・中・小の会議室	床面積：約 3,000 m <sup>2</sup> （共用部含む）
エントランスホール モール	展示ホール及び会議室をつなぐ主要動線となる部分	床面積：適宜 天井高：5m 以上
ローディング スペース	運営、設営における搬出入時の荷捌きスペース	搬入出入り口に 2 台以上の車両（10t クラスの車両）が駐車できること 有効仮想天井高：5m 以上

## 2 委員会

総合評価落札方式の採用に伴い、技術資料について審査及び評価を行うため、委員会を設置しました。

(敬称略)

委員長	東京大学 生産技術研究所	教授	野城 智也
委員	慶應義塾大学 理工学研究科	教授	伊香賀 俊治
委員	早稲田大学 理工学術院	教授	曾田 五月也

平成 28 年 7 月 12 日第 1 回から平成 28 年 10 月 6 日第 3 回まで全 3 回開催しました。本委員会の開催及び落札者決定までの経緯を示します。

### 本委員会の開催及び落札者決定までの経緯

日程	内容
平成 28 年 7 月 12 日	第 1 回委員会開催 (事業概要説明、落札者決定基準等審議)
平成 28 年 9 月 30 日	第 2 回委員会開催 (提案書評価)
平成 28 年 10 月 3 日 平成 28 年 10 月 6 日	第 3 回委員会開催 (最優秀提案の選定、県への報告)
平成 28 年 10 月 7 日	開札
平成 28 年 10 月 17 日	県による落札者の決定、落札者への通知

### 3 技術提案書の審査経過

#### (1) 入札参加申込及び技術提案

平成 28 年 9 月 14 日までに 4 者から入札参加申込と技術提案があり、入札説明書に記載する要件及び技術提案の具備を確認しました。その結果、技術資料の内容が総合評価の対象となりました。

入札参加者符号	入札参加者
あ	前田・三井住友・名工・梓・隈特定建設工事共同企業体
い	株式会社大林組名古屋支店
う	株式会社竹中工務店名古屋支店
え	熊谷組・日建設計特定建設工事共同企業体

#### (2) 提案審査

##### ア 技術提案評価

第 2 回委員会前に、各委員が入札参加者の提出した技術提案について評価項目ごとに各自評価を行いました。

##### イ 最優秀提案の選定

各委員が、技術提案評価項目に係る評価点を精査し、各委員の採点の平均値により、委員会としての評価点を決定しました。この技術提案評価項目に係る評価点に、企業の技術力及び配置予定技術者に関する評価項目に係る評価点を合計し、技術資料評価点を算出し、さらに、この評価点に入札価格評価点を合計して、総合評価点を算出し、最優秀提案の選定を行いました。

## 4 事業提案書の審査の方法

### (1) 技術提案に関する事項【50点】

技術提案の課題は5項目あり、その中に分類が3項目から5項目存在し、各課題の配点は10点としています。

課題①②③については、分類により評価基準を定めていますが、分類相互の関係性が深く、成果に影響する内容であるため、分類全体として優れた計画案を評価することから全体で10点としています。

課題④については、分類ごとに前提条件があること、課題⑤については、構造部位、地盤対策、品質管理、工程に分かれていることから分類ごとに採点しています。

課題	分類	評価基準	配点
① 設計施工発注における事業実施の実施方針と体制、及び要求水準書・技術提案の管理方法、並びに事業費遵守	a 事業実施にあたっての取り組み方針及び基本設計業務、実施設計工事施工等業務の実施方針並びに各方針の具現化策	<b>【有意な検討項目】</b> ① 建設マネジメント方式を実施するための仕組みについて、具体的な実施項目が提案されている。また、専門工事の工事・契約区分の考え方について提案されている。 ② 基本構想及び要求水準書を踏まえ、事業実施にあたっての取り組み方針と具現化策が提案され、確実な推進方法が提案されている。 ③ 業務着手から竣工に至る各段階において庁内関係部署、運営者、近隣施設管理者等と綿密な協議を行い、意見を正確に確認し、基本設計及び実施設計工事施工等に反映する具体的な方策が提案されている。 ④ その他、重視すべき提案がある。	10点
	b 現場代理人及び管理技術者、監理技術者の役割の明確化と、事業推進のためのマネジメントの実施方法、並びに基本設計段階、実施設計工事施工段階における、体制及びその特徴	<b>【有意な検討項目】</b> ① 現場代理人及び管理技術者、監理技術者の業務履行責任において、事業費及び工期の遵守に係る具体的な対応策が提案されている。 ② 高度な施工技術を適切に設計に反映するプロセスと体制が提案されている。 ③ 専門家の登用等、品質とデザインを具現化するに相応しい体制が提案されている。 ④ 建設マネジメント方式を実施するための体制について、具体的な実施項目が提案されている。また、専門工事の工事・契約区分について具体的な提案がされている。 ⑤ その他、重視すべき提案がある。	
	c 要求条件・技術提案を設計及び工事施	<b>【有意な検討項目】</b> ① 要求水準・技術提案の履行確認を行うための方法等が具体的に提案されている。 ② 要求水準・技術提案が基本設計及び実施設計工事施工等へ確実に反	

	工に確実に反映させるための提案	映され、高い品質を確保するための組織的管理方法が具体的に提案されている。 ③ その他、重視すべき提案がある。	
	d 基本設計業務費及び実施設計工事施工費等の考え方	【有意な検討項目】 ① 提案された工事費を実現するための具体的なコストの管理方法が提案されている。 ② 基本設計業務費及び実施設計工事施工費等におけるコストの変動要因を把握し、その要因に対して具体的なコストの管理方法が提案されている。 ③ 先行発注等、設計・施工一括方式について懸念される課題に配慮した提案がされている。 ④ その他、重視すべき提案がある。	
②コストプラスフィー及びオープンブック方式に係る提案	a コストプラスフィー及びオープンブック方式の実行体制	【有意な検討項目】 ① コストプラスフィー及びオープンブック方式を具体的に実施するための体制と仕組みが提案されている。 ② コストプラスフィー及びオープンブック方式の具体的な履行確認方法が提案されている。 ③ 原価確認の実施プロセス及び関係者の役割分担が具体的に提案されている。 ④ 専門業者への支払い状況の確認のための実施プロセスが提案されている。 ⑤ その他、重視すべき提案がある。	10点
	b コストプラスフィー及びオープンブック方式の実施方法	【有意な検討項目】 ① 業務着手から竣工に至る各段階におけるコストプラスフィー方式の実施方法が具体的に提案されている。 ② 業務着手から竣工に至る各段階におけるオープンブック方式の実施方法が具体的に提案されている。 ③ 原価確認のために必要な情報が具体的に提案されている。 ④ 専門業者への支払いを確認するために必要な情報が具体的に提案されている。 ⑤ その他、重視すべき提案がある	
	c 建設マネジメントにおける、施設整備後の民間の創意工夫を活かした提案	【有意な検討項目】 ① 中長期修繕計画やLCCの提案があり、具現可能な数値設定が提案されている。 ② 施設維持管理に対して設計者、施工者としての経験を踏まえた工夫が具体的に提案されている。 ③ 利用者へのサービス向上に向けた具体的な対応策が提案されている。 ④ 利用者の安全性の向上に向けた具体的な対応策が提案されている。 ⑤ その他、重視すべき提案がある。	
③新たな交流・イノベーション拠点の創造	a 多用途に対応したフレキシブルな施設の提案	【有意な検討項目】 ① フレキシビリティの高い施設計画上の工夫が具体的に提案されている。 ② その他、重視すべき提案がある。	10点
	b 各動線のターミナル機能を担うエントランス周	【有意な検討項目】 ① 各動線計画が具体的に整理されている。 ② 来場者滞留スペースが検討され、十分に確保できている。 ③ 庇等が意匠的且つ機能的に提案されている。 ④ 風対策が具体的に提案されている。	

	辺計画の提案	⑤ その他、重視すべき提案がある。										
	c 施設の顔としての役割を担うエントランス周辺計画の提案周辺施設との協調が図られた景観創出の計画	<b>【有意な検討項目】</b> ① 施設の顔として象徴的且つ品格のある視認性の高い外観となっている。 ② エントランス周辺計画の機能が具体的に提案されている。 ③ 計画地周辺の既存及び将来計画の中部国際空港施設等との意匠上の協調について具体的に提案されている。 ④ その他、重視すべき提案がある。										
	d 飲食・休憩スペース計画の提案	<b>【有意な検討項目】</b> ① 交通動線の妨げとなることなく、飲食・休憩スペースが十分に確保されている。 ② 飲食・休憩スペースとして落ち着きのある心地よいスペースが計画されている。 ③ 外部空間と一体的に利用可能な工夫が具体的に提案されている。 ④ その他、重視すべき提案がある。										
	e 地場産業のアピール	<b>【有意な検討項目】</b> ① 地場の建築材料が効果的に用いられ、実現可能な計画が提案されている。 ② 地場の技術が効果的に用いられ、実現可能な計画が提案されている。 ③ その他、重視すべき提案がある。										
④ エネルギー消費・光熱水費の削減	a 建築物の環境負荷の低減・環境品質の向上	III：最も基準値を上回っている。3点 II：基準値を上回っている。0.01～3点未満（【得点の計算法】により算出） I：基準値を下回っている。0点	3点									
		<b>【有意な検討項目】</b> ① 要求水準書内にて規定している、BEE値1.5を上回っているか。 <b>【得点の計算法】</b> 最も基準値を上回った提案を満点とし、次順位以下を次の計算例の通りBEE値の比率で満点より減点する。得点については小数点以下第3位を四捨五入する。 （計算例） <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>A社</th> <th>B社</th> <th>C社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提案BEE値</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>得点</td> <td>3.00点</td> <td>1.50点※1</td> <td>0.30点</td> </tr> </tbody> </table> ※1. B社の得点 $3.00点 \times (2-1.5) / (2.5-1.5) = 1.5点$ ※2. C社の得点 $3.00点 \times (1.6-1.5) / (2.5-1.5) = 0.3点$		区分	A社	B社	C社	提案BEE値	2.5	2.0	1.6	得点
区分	A社	B社	C社									
提案BEE値	2.5	2.0	1.6									
得点	3.00点	1.50点※1	0.30点									
	b 建築物の1次エネルギー消費	III：最も基準値を下回っている。3点 II：基準値を下回っている。0.01～3点未満（【得点の計算法】により算出）	3点									

	量削減	<p>I：基準値を上回っている。0点</p> <p>【有意な検討項目】</p> <p>① 要求水準書内にて規定している、BEI値0.85を下回っているか。</p> <p>【得点の計算法】</p> <p>最も基準値を下回った提案を満点とし、次順位以下を次の計算例の通りBEI値の比率で満点より減点する。得点については小数点以下第3位を四捨五入する。</p> <p>(計算例)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>A社</th> <th>B社</th> <th>C社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提案年間光熱水費</td> <td>0.75</td> <td>0.80</td> <td>0.90</td> </tr> <tr> <td>得点</td> <td>3.00点</td> <td>1.50点※1</td> <td>0.00点 (基準値を上回ったため)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1. B社の得点 <math>3.00点 \times (0.85 - 0.8) / (0.85 - 0.75) = 1.5点</math></p>	区分	A社	B社	C社	提案年間光熱水費	0.75	0.80	0.90	得点	3.00点	1.50点※1	0.00点 (基準値を上回ったため)	
区分	A社	B社	C社												
提案年間光熱水費	0.75	0.80	0.90												
得点	3.00点	1.50点※1	0.00点 (基準値を上回ったため)												
	c 光熱水費の削減	<p>III：最も基準値を下回っている。4点</p> <p>II：基準値を下回っている。0.01～4点未満 (【得点の計算法】により算出)</p> <p>I：基準値を上回っている。0点</p> <p>【有意な検討項目】</p> <p>① 年間の光熱水費基準値16,500万円(税込)を下回っているか。</p> <p>【得点の計算法】</p> <p>最も基準値を下回った提案を満点とし、次順位以下を次の計算例の通り光熱水費の比率で満点より減点する。得点については小数点以下第3位を四捨五入する。</p> <p>(計算例)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>A社</th> <th>B社</th> <th>C社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提案年間光熱水費</td> <td>15,000万円/年</td> <td>16,000万円/年</td> <td>20,000万円/年</td> </tr> <tr> <td>得点</td> <td>4.00点</td> <td>1.33点※1</td> <td>0.00点 (基準値を上回ったため)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1. B社の得点 <math>4.00点 \times (16,500万円/年 - 16,000万円/年) / (16,500万円/年 - 15,000万円/年) = 1.33点</math></p>	区分	A社	B社	C社	提案年間光熱水費	15,000万円/年	16,000万円/年	20,000万円/年	得点	4.00点	1.33点※1	0.00点 (基準値を上回ったため)	4点
区分	A社	B社	C社												
提案年間光熱水費	15,000万円/年	16,000万円/年	20,000万円/年												
得点	4.00点	1.33点※1	0.00点 (基準値を上回ったため)												
⑤ 構造計画、及び施工計画、並びに工程遅延防止と工期縮減提案	a 基礎計画及び地上躯体の構造計画	<p>III：非常に優れた内容の提案である。2点</p> <p>II：標準的な提案よりも優れた提案である。1点</p> <p>I：標準的な提案である。0点</p> <p>【有意な検討項目】</p> <p>① 合理的な液状化対策、沈下対策が具体的に提案されている。</p> <p>② 耐震性能および耐久性に対して優れた提案がなされている。</p> <p>③ 耐震性能、耐風性能及び耐久性に対して優れた提案がなされてい</p>	2点												

		<p>る。</p> <p>④ コストと性能を考慮した提案がなされている。</p> <p>⑤ その他、重視すべき提案がある。</p>	
	b 展示ホール 6 屋根架 構の構造 計画及び 施工計画	<p>Ⅲ：非常に優れた内容の提案である。2点</p> <p>Ⅱ：標準的な提案よりも優れた提案である。1点</p> <p>Ⅰ：標準的な提案である。0点</p> <p>【有意な検討項目】</p> <p>① 耐震性能、耐風性能及び耐久性能に対して優れた提案がなされている。</p> <p>② コストと性能を考慮した提案がなされている。</p> <p>③ その他、重視すべき提案がある。</p>	2点
	c 建築物及び 外構に係 る軟弱地 盤対策	<p>Ⅲ：非常に優れた内容の提案である。2点</p> <p>Ⅱ：標準的な提案よりも優れた提案である。1点</p> <p>Ⅰ：標準的な提案である。0点</p> <p>【有意な検討項目】</p> <p>① 地盤特性を考慮し、具体的に提案されている。</p> <p>② コストと性能を考慮した提案がなされている。</p> <p>③ その他、重視すべき提案がある。</p>	2点
	d 施工計画、 建方計画 及び品質 管理	<p>Ⅲ：非常に優れた内容の提案である。2点</p> <p>Ⅱ：標準的な提案よりも優れた提案である。1点</p> <p>Ⅰ：標準的な提案である。0点</p> <p>【有意な検討項目】</p> <p>① 地業工事（杭工事・地盤改良など）の施工計画及び品質管理に対して具体的に提案されている。</p> <p>② コンクリート工事の施工計画及び品質管理に対して具体的に提案されている。</p> <p>③ 鉄骨工事の施工計画及び品質管理に対して具体的に提案されている。</p> <p>④ その他、重視すべき提案がある。</p>	2点
	e 工期遅延防 止及び工 期縮減提 案、並び に設計施 工工程表	<p>Ⅲ：非常に優れた内容の提案である。2点</p> <p>Ⅱ：標準的な提案よりも優れた提案である。1点</p> <p>Ⅰ：標準的な提案である。0点</p> <p>【有意な検討項目】</p> <p>① 地業工事（杭工事・地盤改良など）のホールドポイント（材料発注、施工期間など）を設定した上で、業務期間の遅延防止策と縮減について具体的に提案されている。</p> <p>② コンクリート工事のホールドポイント（デリバリー、サイクル工程など）を設定した上で、業務期間の遅延防止策と縮減について具体的に提案されている。</p> <p>③ 鉄骨工事のホールドポイント（ロール発注、図面承認、建方期間など）を設定した上で、業務期間の遅延防止策と縮減について具体的</p>	2点

		に提案されている。 ④ コンクリート工事で工期短縮に有効な技術提案（P Ca化、コンクリート材料など）が具体的に提案されている ⑤ 鉄骨工事で工期短縮に有効な技術提案（大スパン架構の建方など）が具体的に提案されている。 ⑥ その他、重視すべき提案がある。	
--	--	--	--

**(2) 入札金額に関する事項【30点】**

本事業においては、予定価格内で性能を重視した提案を期待したいことから、上限価格以内であれば、価格差が存在しても基礎点30点を与えることとしています。

評価項目	評価基準	配点
入札金額	予定価格以内の場合	30点
	予定価格を超えた場合（失格）	0点

**(3) 企業の技術力及び配置予定技術者に関する事項【20点】**

ア コストプラスフィー及びオープンブック方式に関する事項（配点8点）

特定建設工事共同企業体の場合は、代表構成員の実績により評価します。

評価項目	評価基準	配点
① コストプラスフィー及びオープンブック方式の採用実績（過去20年間：平成8年4月1日から技術資料を提出する前日までに完了）※ <sup>1</sup>	4件以上	8点
	3件	6点
	2件	4点
	1件	2点

※<sup>1</sup>企業評価対象は、国内外において過去20年間に完成し、かつコストプラスフィー及びオープンブック方式を採用した建築工事及び土木工事の元請としての実績とします。共同企業体としての実績の場合は、出資比率が出資総額の10分の2以上のものを対象とします。

イ 企業の技術力に関する事項（配点4点）

特定建設工事共同企業体の場合は、代表構成員の実績により評価します。

評価項目	評価基準	配点
② 企業の施工実績（過去20年間：平成8年4月1日から技術資料を提出する前日までに）※ <sup>1</sup> ※ <sup>2</sup>	事後審査で申請するもの他に完成したもの1件	4点
	事後審査で申請するもの他に施工中のもの1件	2点
	事後審査で申請する実績のみ	0点

※<sup>1</sup>評価対象工事は、国内外において過去20年間に、下記(a)及び(b)の条件を満たす建築物の建築工事の元請としての施工実績とします。共同企業体としての実績の場合は、出資比率が出資総額の10分の2以上のものを対象とします。

(a) スパン長さ 25m以上の大空間を有する鉄骨鉄筋コンクリート、鉄筋コンクリート、鉄骨造建築物

(b) 延べ面積 20,000 m<sup>2</sup>以上（増築の場合は増築部分の面積）

※<sup>2</sup>事後審査で申請する施工実績は含めません。

ウ 配置予定の監理技術者の能力に関する事項（配点 4 点）

評価項目	評価基準	配点
③ 監理技術者の施工実績（過去 20 年間：平成 8 年 4 月 1 日から技術資料を提出する前日まで）※ <sup>1</sup> ※ <sup>2</sup> ※ <sup>3</sup> ※ <sup>4</sup> ※ <sup>5</sup> ※ <sup>6</sup>	事後審査で申請するものの他に完成したもの 1 件	4 点
	事後審査で申請するものの他に施工中のもの 1 件	2 点
	事後審査で申請する実績のみ	0 点

※<sup>1</sup>評価対象工事は、国内外において過去 20 年間に、下記(a)及び(b)の条件を満たす建築物の建築工事の元請としての施工実績とします。共同企業体としての実績の場合は、出資比率が出資総額の 10 分の 2 以上のものを対象とします。

(a) スパン長さ 25m以上の大空間を有する鉄骨鉄筋コンクリート、鉄筋コンクリート、鉄骨造建築物

(b) 延べ面積 20,000 m<sup>2</sup>以上（増築の場合は増築部分の面積）

※<sup>2</sup>工場製作期間と現場作業期間で配置予定技術者が異なる場合には、現場作業期間における配置予定技術者に係る実績を求めます。

※<sup>3</sup>主任（監理）技術者、現場代理人又は入札説明書 2(3)アに示す担当技術者としての実績を求めます。なお、工事の途中で主任（監理）技術者又は現場代理人の交代があった場合は、コリンズの変更届及び実施工程表等により従事した経験が確認できる場合に限り認めます。

※<sup>4</sup>入札参加申し込みの時点で配置予定技術者を特定することができない場合は、候補とする配置予定技術者のうち、加算点の合計がもっとも低い技術者の点数を使用します。

※<sup>5</sup>事後審査で申請する施工実績は含めません。

※<sup>6</sup>本件工事の工事着手の際に専任で配置できること。

エ 配置予定の管理技術者の能力に関する事項（配点 4 点）

評価項目	評価基準	配点
④ 管理技術者の業務実績（過去 25 年間：平成 3 年 4 月 1 日から技術資料を提出する前日まで）※ <sup>1</sup> ※ <sup>2</sup>	事後審査で申請するものの他に完了したもの 1 件	4 点
	事後審査で申請するものの他に設計中のもの 1 件	2 点
	事後審査で申請する実績のみ	0 点

※<sup>1</sup>評価対象業務は、国内外において過去 25 年間に、下記(a)及び(b)の条件を満たす建築物の設計を行った実績とします。共同企業体としての実績の場合は、出資比率が出資総額の 10 分の 2 以上のものを対象とします。

(a) スパン長さ 25m以上の大空間を有する鉄骨鉄筋コンクリート、鉄筋コンクリート、鉄

骨造建築物（ただし、当該大空間に空調設備を有する建築物に限る。）

(b) 延べ面積 20,000 m<sup>2</sup>以上（増築の場合は増築部分の面積）

※<sup>2</sup>事後審査で申請する設計実績は含めません。

#### (4) 最優秀提案の選定

技術提案に関する事項【50点】と入札金額に関する事項【30点】と企業の技術力及び配置予定技術者に関する事項【20点】を合計して総合評価点を算出し、総合評価点が最大となる提案を最優秀提案とします。

総合評価点（100点満点）

= 技術提案評価点数【50点】

+ 入札金額評価点数【30点】

+ 企業の技術力及び配置予定技術者評価点数【20点】

## 5 審査結果

技術提案に関する課題ごとに3名の委員の評価点の平均点を算出し、5つの課題の平均点を合計して委員会としての加算点を決定しました。

入札参加者	技術提案に関する事項（配点50点）							入札金額に関する事項（配点30点）		企業の技術力及び配置予定技術者に関する事項（配点20点）					総合評価点	
	課題①	課題②	課題③	課題④		課題⑤		小計	入札書記載金額（円）	入札金額評価点	フコストブック方式の採用実績	企業の施工実績	監理技術者の施工実績	管理技術者の施工実績		小計
㈱竹中工務店名古屋支店	7.67	9	6.67	分類a	3	分類a	2	42.53	31,610,850,000	30	8	4	4	4	20	92.53
			分類b	2.86	分類b	2										
			分類c	4	分類c	1.33										
					分類d	2										
					分類e	2										
前田・三井住友・名工・梓・隈 特定建設工事共同企業体	9.33	8.33	8	分類a	1.06	分類a	1.67	39.04	31,611,000,000	30	8	4	4	4	20	89.04
			分類b	3	分類b	2										
			分類c	0.98	分類c	1.67										
					分類d	2										
					分類e	1										
㈱大林組名古屋支店	6	5.67	5.33	分類a	1.74	分類a	2	29.64	31,600,000,000	30	8	4	4	4	20	79.64
			分類b	1.02	分類b	2										
			分類c	0.21	分類c	1.67										
					分類d	2										
					分類e	2										
熊谷組・日建設計 特定建設工事共同企業体	3.67	3.67	4	分類a	0.58	分類a	1.67	20.71	31,611,003,000	30	8	4	4	4	20	70.71
			分類b	0.34	分類b	1.67										
			分類c	1.11	分類c	1.33										
					分類d	1.67										
					分類e	1										

## 6 審査講評

株式会社竹中工務店名古屋支店の提案内容について、落札者決定基準の評価項目に従い、講評いたします。

### 1. 課題① 設計施工発注における業務の実施方針及び設計・施工体制、要求水準書・技術提案の管理方法、並びに事業費遵守

10点を配点し、次の4分類について審査を行いました。

#### (1) 分類 a 事業実施にあたっての取り組み方針及び基本設計業務、実施設計工事施工等業務の実施方針並びに各方針の具現化策

提案内容において、基本構想及び要求水準における本事業の目的を理解しており、設計施工一貫マネジメントによる確実に高精度な品質・コスト・工程を実現しようとしている点、総合調整室に情報を集約し、公正、透明な品質、価格、工程管理を実践しようとしている点、環境配慮型施設としてZEB readyを目指している点を評価しました。

#### (2) 分類 b 現場代理人及び管理技術者、監理技術者の役割の明確化と、事業推進のためのマネジメントの実施方法、並びに基本設計段階、実施設計工事施工段階における、体制及びその特徴

プロジェクトの総責任者として現場代理人に窓口と情報を集約化し、組織の迅速かつ柔軟な対応を実現しようとしている点、管理技術者が、各職能を統括し整合性の取れた質の高い設計を推進しようとしている点、監理技術者が、各工事を統括し質の高い工事施工を推進しようとしている点、情報公開チームがプロジェクト情報発信しようとしている点、設計と施工を相互補完するシームレスな業務運営を実施することを目指している点を評価しました。

#### (3) 分類 c 要求条件・技術提案を設計及び工事施工に確実に反映させるための提案

セルフモニタリング管理、情報共有・一元化と客観的資料提示による確実な合意形成をもとに設計から施工に至るまで体制がとられている点を評価しました。

#### (4) 分類 d 基本設計業務費及び実施設計工事施工費等の考え方

各種標準外業務を含んだ基本設計業務費の透明性確保、フロントローディングによるコスト節減、コストモニタリングの実施による精度の高いコスト管理とコスト変動への対応、BIMの積極的な活用による生産性向上と事業費の遵守に対応する点を評価しました。

### 2. 課題② コストプラスフィー及びオープンブック方式に係る提案

10点を配点し、次の3分類について審査を行いました。

#### (1) 分類 a コストプラスフィー及びオープンブック方式の実行体制

情報公開チームが「開かれたプロジェクト」を実践し、内部監査と外部監査によるオープンブックの透明性と公平性を担保する点を評価しました。

#### (2) 分類 b コストプラスフィー及びオープンブック方式の実施方法

専門工事業者の選定について工期リスクを大きく低減しようとしている点、一定額以上の入札の実施、証拠書類の厳選とトレーサビリティの高い保管管理をしようとしている点を評価しました。

**(3) 分類 c 建設マネジメントにおける、施設整備後の民間の創意工夫を活かした提案**

設計・施工・運営に至るまで一貫したBIMを推進しようとしている点、BEMSの構築とチューニングにより運用後のさらなる省エネルギー化を推進しようとする点を評価しました。

**3. 課題③ 新たな交流・イノベーション拠点の創造**

10点を配点し、次の5分類について審査を行いました。

**(1) 分類 a 多用途に対応したフレキシブルな施設の提案**

柱スパンを広げ、柱本数を減らしたこと、展示ホール間の開口数を追加したこと、主搬入口幅を2倍にしたこと、サブ搬入ルートを設置したこと、空調のゾーン制御、拡張に備えて会議室ゾーンを南側に配置したこと、コンサート等多様な舞台配置に対応した天井吊物か所数の割増し、コンサート利用時の避難シミュレーション、WCの個数の確保、2方向からの出入口を確保している点を評価しました。

**(2) 分類 b 各動線のターミナル機能を担うエントランス周辺計画の提案**

エントランス位置の見直しによる来客・サービス・搬入車両動線の整理、1000人ベンチの設置、ユニバーサルデザインワークショップの開催によりすべての人に利用しやすい施設を目指している点を評価しました。

**(3) 分類 c 施設の顔としての役割を担うエントランス周辺計画の提案周辺施設との協調が図られた景観創出の計画**

大庇を設け、様々な屋外イベントに対応しようとしている点、バス専用庇の設置、視認性の高いサブエントランスゲートの設置、メタリック焼付断熱鋼板パネルにより周辺景観に溶け込もうとしていることと「波の揺らぎ」を表現している点を評価しました。

**(4) 分類 d 飲食・休憩スペース計画の提案**

オープンスペースを拡張するとともに、モールに中庭を設置、中央にカフェを配置して席数を3倍に拡張することで心地よい空間を創出し、新たな交流の創出を目指している点を評価しました。

**(5) 分類 e 地場産業のアピール**

あいち認証材をはじめとした各種地場産品の利用、「モノづくりあいち」の常設展示コーナーの設置によりモノづくりあいちをアピールしている点を評価しました。

**4. 課題④ 環境への配慮及びエネルギー消費削減**

10点を配点し、次の3分類について審査を行いました。

**(1) 分類 a 建築物の環境負荷の低減・環境品質の向上**

大空間に最適な空調システムによる快適性・利便性を向上し、CASBEEのSランクを実現する点を評価しました。

**(2) 分類 b 建築物の1次エネルギー消費量削減**

高効率システムと自然エネルギー活用でZEB readyを目指している点を評価しました。

**(3) 分類 c 光熱水費の削減**

蓄熱併用個別熱源方式により低ランニングコストを実現しようとしているとともに、空調ゾーン別制御・高効率システムの導入によりローコストオペレーションを目指している点を評価しました。

**5. 課題⑤ 構造計画、施工計画並びに工程遅延防止及び工期縮減提案**

10点を配点し、次の5分類について審査を行いました。

**(1) 分類 a 基礎計画及び地上躯体の構造計画**

40箇所の追加ボーリングで信頼性の高い杭長設定を実現しようとしている点、津波・高潮レベル+450mmの高さに1FLを設定している点、方杖柱採用による、ロングスパン梁の単材化、重要度係数1.5の採用による耐震性のさらなる向上を目指している点を評価しました。

**(2) 分類 b 展示ホール6屋根架構の構造計画及び施工計画**

方杖ダンパーによる大スパン架構上下動応答をしようとしている点、ベント工法の採用によりブロック間の変形差を抑制し、トラス架構の品質・安全を確保する点を評価しました。

**(3) 分類 c 建築物及び外構に係る軟弱地盤対策**

想定外の局所的沈下に備えて高耐力杭を採用していること、全ての杭に液状化の影響を考慮（上杭仕様、C種PHC杭）していること、地盤沈下・液状化対策を目的としたサンドコンパクションパイルにより、災害発生後の緊急車両等の主要動線、歩行者主要動線、重要埋設インフラの機能確保する点を評価しました。

**(4) 分類 d 施工計画、建方計画及び品質管理**

移動式クレーンに起伏リミットを設置することで施工中の制限高さ超過を防止しようとしている点、組織的な品質管理体制による確実な品質を確保しようとしている点、杭工事におけるトレーサビリティを考慮した品質管理しようとしている点を評価しました。

**(5) 分類 e 工期遅延防止及び工期縮減提案、並びに設計施工工程表**

基本設計段階から生産・調達情報を盛り込むフロントローディングにより整合性の確保を図るとともに、設計と施工のシームレスな計画により、引渡し日を2.5ヶ月縮減（受電から引き渡しまで5か月）する計画を提案している点を評価しました。

## 7 総評

入札参加者から提出された技術提案は、どれも本事業の目的や要求水準を踏まえたもので、各者の技術力を発揮した検討熟度の高いもので、事業実施への意欲が感じられるものでした。優れた提案をしてくださった各者には敬意を表したいと思います。

最優秀提案の技術提案書は、本事業の事業範囲全般にわたり、県があらかじめ提示した要求水準以上の提案内容をもっていました。課題であった事業実施の方針及び体制、事業費の透明性、施設整備計画、省エネ性能及び光熱水費削減、構造計画及び施工計画に関して、実現可能で質の高い施設整備に繋がる優れた提案でした。

今後、愛知県と事業者が協力して、本事業を実施するに際しては、事業者選定委員会にて評価された内容を十分に踏まえ、事業者が技術提案した内容を確実に履行実現し、より良い施設整備を行い、運営に引き継ぐことによって、本事業の目的が達成されることを期待します。

平成 28 年 10 月

愛知県大規模展示場整備事業者選定委員会

委員長 野城 智也